

お知らせ

INFORMATION

No.2017-42
2017年12月
病体生理研究所

新規受託開始のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたのでご案内いたします。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

【新規受託開始について】

- ◆ ADAMTS13 活性 [62269] …検査実施施設 (M)
- ◆ ADAMTS13 インヒビター定性 [62263] …検査実施施設 (M)
- ◆ ADAMTS13 インヒビター定量 [62265] …検査実施施設 (M)

※項目情報裏面参照

《受託開始日》：2018年1月15日（月）受付分より

【新規項目情報】

項目名称	ADAMTS13 活性	ADAMTS13 インヒビター定性	ADAMTS13 インヒビター定量
コード	62269	62263	62265
検体材料	クエン酸 Na 血漿 0.2mL	クエン酸 Na 血漿 0.4mL	クエン酸 Na 血漿 0.5mL
保 存	絶凍		
採取容器	No.16-A 凝固検査用容器 → No.7		
検査方法	EIA 法	Bethesda 法	
基準値 単位	0.78～1.57 IU/mL	(-)	0.5 未満 BU/mL (BU : Bethesda Unit)
所要日数	4～7 日		
実施料	未収載		
備 考	必ず血漿分離の上ご提出下さい。	インヒビター定性をご依頼の際は、「ADAMTS13 活性」もあわせてご依頼下さい。単独でのご依頼はできません。上記検体量は活性とインヒビター定性を合わせた検体量です。必ず血漿分離の上ご提出下さい。	必ず血漿分離の上ご提出下さい。

ADAMTS13は、止血因子であるvon Willebrand 因子を特異的に切断する蛋白酵素で、活性中心に亜鉛分子を持つメタロプロテアーゼです。

本酵素の活性低下は血栓性微小血管障害症と深く関連しており、とりわけ血栓性血小板減少性紫斑病(thrombotic thrombocytopenic purpura, TTP)の原因となります。

TTPは遺伝子異常による先天性TTPとIgG型自己抗体（インヒビター）による後天性TTPとがあり、治療方法の選択において両者を鑑別することが重要となります。

また、TTP患者では血栓形成を亢進させるため、血小板輸血は禁忌とされます。

ADAMTS13活性およびインヒビターを測定することで、病態の鑑別ならびに治療方針決定に有用な情報を提供できると思われます。

以上